

一

次の各問いに答えなさい。

問一

——部のカタカナを漢字に直しなさい。

- (1) 入試の日は雲一つないカイセイだった。
- (2) 学力の向上にツトめる。
- (3) 忘れ物をしてシキユウ帰宅した。
- (4) その出来事は心に深くキザまれた。
- (5) リーダーシップをハツキする。

問二

——部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- (1) 主人公の純真な心を理解する。
- (2) 自分の足りない力をクラスメートが補う。
- (3) 著名な作家の講演を聞く。
- (4) アジア諸国の問題に取り組む。
- (5) 技術革新が進んだ世界。

問三 次の各組の慣用句の□には同じ言葉が入ります。その言葉をそれぞれ漢字一字で答えなさい。

- |     |       |        |
|-----|-------|--------|
| (1) | □が軽い  | □をすべらす |
| (2) | □と油   | □をさす   |
| (3) | □が出る  | □をひっぱり |
| (4) | □が回る  | □をまく   |
| (5) | □をひねる | □を長くする |

問四 次の□には「見る」に関係する言葉が入ります。その答えとして、最も適当なものを後の【語群】よりそれぞれ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号は一度しか使えません。

- (1) 皇太子ご夫妻が展覧会を□。
- (2) まずはあなたのお手並みを□しよう。
- (3) 式の当日、□のを楽しみにしております。
- (4) 先生に□のごあいさつをしました。
- (5) 私が妹の宿題を□。

【語群】

- ア お目にかかれる    イ 見ます    ウ お目見え    エ ご覧になる    オ 拝見

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【第1段落】 僕の知り合いのお子さんの話ですが、小学校低学年の男の子で、ある日「パンが好きだから、将来はパン職人になりたい！」と親にいったそうです。

すると彼の母親は猛反対して、「今からパン職人を目指すよりも、受験勉強をがんばっていい学校に入った方が、将来の選択肢が広がるから」と説得して、パン職人への興味を断念させたのだとか。ちなみに、母親は有名私立大学を卒業して、大手出版社で働いています。

僕はこの話を聞いたとき、とても残念に思いました。それは、母親が職業に□Iをつけているからです。□A有名大学に入って有名な企業に勤めることが人生の成功者で、パン職人になることは子どものためにならない、というように決めつけています。

僕は小さい頃、蝶に夢中になっていましたが、それについて親から「蝶に興味を持っても、将来役に立たないよ」といわれたことはありません。また大学は理学部物理学科に入学しましたが、当時は一般的に「物理で食べていくのは難しい」といわれていました（これは、今も同じかもしれません）。そのときに、親は「物理で食べていくのは大変だから、医学部に入った方がいいんじゃないの」とはいいませんでした。とにかく、学問や職業に□Iづけをせず、僕がやりたいことを邪魔しないで見守ってくれました。

親が子どもにできることは、限られています。それは「見守ること」と「応援すること」<sup>①</sup>。子どもが何かに興味を持ったら、口出ししたい気持ちをぐっと我慢して見守り、応援するだけです。あとは、子どもの自主性に任せましょう。子どもの自主性に任せて、失敗したとしても、子どもは「自分で決めたことだから」と、なんとか自力で道を切り開いていくものです。

今の時代は、年功序列、終身雇用（こしゅうこよう）の時代に比べたら、何が価値のあることに繋つながるかわかりません。ひと昔前は、**B** パティシエという名前の職業は日本にはありませんでした。町のケーキ屋さんや洋菓子職人と呼ばれていたくらいでしょうか。それが、お菓子の本場フランスで修業をし、一流のパティシエとして世界中から注目され、数々の賞を獲とって人々に尊敬される人も出てきました。

今は、自分の興味を極めれば輝かがやける時代です。先ほどのパン職人になりたいといった少年だって、パンのことを突き詰めていって、どんな小麦やイースト菌（きん）を使えばパンがおいしくなるか、中の具をどんなものにしようか、と探究していけば、**C** 世界一のパンをつくる人になれるかもしれない。そうやって自分が興味を持ったことに真剣（しんけん）に取り組める子は、地頭がよくなるから受験もうまくいくはずですよ。

親は、子どもに影響（えいさう）を与えることを目的に存在するわけではありません。子どもがいろんなものに出合っあって、挑戦（ちせん）して失敗しても安心して戻もどってこられる安全基地であるべきなのです。

【第2段落】子どもは実に、さまざまなものに興味を持ちます。

数カ月前は、パン職人になりたいといっていたのが、今はファッションデザイナーになりたい、といっているかもしれません。

しかし、ここで「どうせ、すぐにやりたいことが変わるんだから、それなら勉強に集中させておけば、いざとなったときに『潰つぶし』が利きく」と考えて、子どもがそのときに興味を持っていることを取り上げてしまったら、どうなるでしょうか？

子どもは探究する気持ちを失ってしまうでしょう。探究する気持ちを失えば、人生に対する意欲もなくしてしまいます。

たとえば、興味を持ったことが将来の道に直結していなくても、探究すること自体が大事です。ひとつのことに興味を抱いだき目標を持って探究を続けると、目標を達成させるために、計画を立てたり、実験したり、**II** します。その過程にお

いて、子どもは学ぶ楽しさを知るでしょう。

そのようにして、探究のスキルを学ぶと、もともと「深掘り」したくなるかもしれません。

あるいは、興味が広がって別のものに興味を持つかもしれない。そうしたら、また新たな探究を始めるでしょう。

子どもがひとつのことを探究するのをやめて次、次、と探究の対象を変えていっても、「この子は飽あきつぱいのかしら。ひとつのことが長続きしない」などと心配する必要はありません。

大事なのは、何かを探究する姿勢です。具体的な目標は、極端（きくたん）なことをいづたら、何でもいいのです。そのとき、そのときの子どもの興味をどれも認めてあげれば、やがてその子が本気でやりたいことが見つかるはずですよ。

【第3段落】親が子どもにできることは、「見守ること」と「応援すること」だと前述しました。見守るよりも、もう少し子どもと消極的に関わるのが、「応援すること」です。

応援するときに大事なことは、「世界は広いし、すごい人がたくさんいる」ということをなるべく早いうちから教えてあげること。小、中学生くらいだと、自分が生きている世界は家と学校と塾（じゅく）くらいで、関わる人は家族、友だち、先生などという子が多いでしょう。

子どもたちは、今、自分が置かれた環境（かんきやう）を生きることに精一杯で、広い世界に目を向ける余裕（よゆう）がないかもしれません。そこで、そこに目を向けさせてあげるのが大人の役割なのです。

僕の場合は、小学校に上がる前に、母親から、近所に住む昆虫学（こんちゅうがく）を専攻（せんこう）していた大学生のお兄さんを紹介されたことが、大きな転機になりました。それをきっかけに日本鱗翅学会（りんし学会）という蝶や蛾（が）を研究対象とする大人たちが集まる学術団体に入ったことで、広い世界を知ることができました。小学生だった僕は、学校の中では蝶については誰（だれ）よりも詳しく知っていると思っていましたが、日本鱗翅学会の大人たちと話していると、「自分はまだまだ。世の中にはこんなにすごい人たちがいるんだ」と、大きな刺激（しげき）を受けました。

先ほど例に挙げた、パン職人になりたいといった少年も、ただ家でパンを焼いてそれを食べた家族が「おいしい」といつてくれるレベルでは井の中の蛙<sup>かわず</sup>です。そのときに親ができることは、本当にすごいと呼ばれるパン職人が焼いたパンをたとえ遠方でも買いに行つて実際に食べさせてあげること。そして「あなたが作ったパンとこのパンは、どこが違うと思う？」と子どもの探究心をくすぐつてあげる。親がするべき「応援」とは、そういうことです。

【第4段落】また、常に「その分野のトップレベルのもの、人」を見せてあげることも大事です。

例えば、アメリカの実業家でエンジニアでもあるイーロン・マスク。彼は宇宙輸送を可能にするロケットを製造開発するスペースX社の創業者であり、電気自動車会社であるテスラモーターズのCEO<sup>※</sup>でもあります。資産は二〇一八年時点で二〇四億ドルとされています。

そのマスク氏が、二〇一八年三月に行なわれたテキサス州でのイベント「サウス・バイ・サウスウエスト (SXSW)」に出席して、火星への有人飛行を目指して開発している「ビッグ・ファルコン・ロケット (BER) 火星と地球との間を往復できるよう設計された再利用可能な超大型ロケット」について、二〇一九年前半までには短時間の上昇・降下テストの準備を進めていることを明らかにしました。

マスク氏は二〇一七年に、BERの開発を進めていることを発表しています。BERを利用すれば、ニューヨーク市から上海までおよそ三十分で移動できるといいます。そしてBERによる火星に向けての打ち上げについては二〇二二年を目指しており、最終的には自立的なコロニーを火星に建設することを目指しているそうです。

ただ、マスク氏が率いるスペースXやテスラモーターズは、公表した予定を達成できないことでも知られています。しかしマスク氏は、あえて無茶な目標を掲げてそれを公表することで、社内にも自分にも緊張感<sup>きんちやうかん</sup>を持たせ、(予定よりは遅れるけれども) 実際にすごい成果をあげています。

世の中には、そういうすごい人がいる、ということを経が知らないとしたら、<sup>②</sup>狭い範囲<sup>はんい</sup>でしか子どもに人生を語つてあ

げられません。それでは、子どもの探究心を羽ばたかせることはできず、無限に広がっているはずの将来の可能性を狭めることにしかならないでしょう。

そうならないためにも、親は子どもに広い世界を見せてあげてください。本当は、イーロン・マスクのような人に会わせるという生の体験が一番なのですが、なかなかそれは難しいでしょう。代わりにイーロン・マスクが演説している動画を見せるなどして、「世の中にはこういう人もいるんだよ」とそれとなく教えてあげましょう。

それを見た子どもが、どう受け止めるかはわかりませんが、少なくとも今いる世界がすべてではないのだと気づいてくれるはずです。

【第5段落】また、いろんな人に会う機会をつくつてあげるのも大人の役割です。

僕が子どもの頃は、「子ども会」に地域の子たちのほぼ全員が参加していました。今は、参加しない人も増えていると聞きますが、子ども会は自分の家の近所の年齢の違う子どもたちや、その親たちと交流する、学校とは違った共同体で、そこでしか会えない人たちがいます。

普段子どもが接する大人は、自分の親や学校や塾の先生、親せきくらいのもではないでしょうか。でも、子ども会ではいろいろな大人に出会うことができ、子どもにとっては大きな学びになると思います。<sup>③</sup>

大人たちの会話に耳を澄ませてみると、「自分の親はいつもこんなことをいつていてるけど、〇〇くんの家のお母さんは、うちとはぜんぜん違うことをいつていてる。こんな考え方もあるんだな」と思ったり、「うちの親と似たようなことをいつていな。やっぱりその考えが正しいのかも」と感じたり。どちらの意見を聞くにしても、世間や大人の世界を垣間見ることができ、いろいろな意見を立体的に見ることができるようになります。

これによって、自分の狭い世界や考えに固執せず、世の中にはいろんな人がいて、いろいろな意見があるのだということを知る良い機会となるはずです。

※注 ・ CEO……最高経営責任者

問一 I には「順位」という意味をあらわす言葉が入ります。その言葉を自分で考え、カタカナ三字で答えなさい。

問二 A C に入る言葉として、最も適当なものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- |   |    |   |      |   |        |   |    |   |     |
|---|----|---|------|---|--------|---|----|---|-----|
| A | …… | ア | しかし  | イ | なぜなら   | ウ | また | エ | つまり |
| B | …… | ア | 例えば  | イ | 一方で    | ウ | では | エ | 結局  |
| C | …… | ア | そもそも | イ | もしかしたら | ウ | だが | エ | さらに |

問三 部①「見守ること」と「応援すること」とありますが、これは子どものどのような性質を尊重しているといえますか。その答えとして最も適当な言葉を【第1段落】より探し、三字で抜き出して答えなさい。

問四 II には四字熟語が入ります。その四字熟語として、最も適当なものを次の中から選び記号で答えなさい。

- |   |      |   |      |   |      |   |      |
|---|------|---|------|---|------|---|------|
| ア | 異口同音 | イ | 付和雷同 | ウ | 試行錯誤 | エ | 四苦八苦 |
|---|------|---|------|---|------|---|------|

問五 【第3段落】には、文脈に合わない言葉が使われているところがあります。【手がかり】を参考にその言葉を抜き出し、正しい形に直して答えなさい。

・ 【手がかり】 ↓ その言葉は本来使われていた言葉と正反対の意味を持っています。

問六 部②「狭い範囲でしか子どもに人生を語ってあげられません」とありますが、『狭い範囲で』物事をみるという意味を持つ言葉を【第3段落】より五字で探し、抜き出して答えなさい。

問七 部③「大きな学びになると思います」とありますが、それはなぜですか。その理由として、最も適当なものを次の中から選び記号で答えなさい。

- |   |                                                 |
|---|-------------------------------------------------|
| ア | 一時的に保護者や家族から離れることにより、自然と自立を促すことが可能となるから。        |
| イ | 普段とは違う人間関係の中に身を置くことで、多様な価値観を養うことが可能となるから。       |
| ウ | 子どもの社会とは違う大人の共同体を目にすることで、社会の厳しさを実感することが可能となるから。 |
| エ | 接したことのない人物と関わったほうが、緊張感を持って学ぶことが可能となるから。         |

問八 本文の内容を説明した各文のうち、正しいものには「○」、正しくないものには「×」とそれぞれ答えなさい。ただし、各選択肢の冒頭にある【段落番号】を参考にすること。

ア 【第1段落】現代は固定的なシステムに従っていれば確実に活躍できるという時代ではないため、自己研鑽を積んでいけば、大きな価値を生み出すということも可能となる。

イ 【第2段落】子どものやりたいことが次々と変わったとしても、興味を持ったという事実を肯定し、認めていくことが親の立場からできる支えである。

ウ 【第3段落】子どもは大人が思うよりも多種多様な人々と接しているため、親が子どもを応援する際には、その関係を壊さないようにすることが大切である。

エ 【第4段落】イーロン・マスクは、世界的に活躍する実業家であるとともに、子ども達の活躍を支援するために講演会を実施するなど、模範的な指導者の例として用いられている。

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【ここまでのあらすじ】

マレーシアからの帰国子女である「わたし（花岡）」は、なかなか日本の中学校になじめずに苦労していた。そのようなときに、「佐藤先輩」の誘いにより、吟行（短歌などを作るために野外に出かけること）をはじめめる。そして、作成した和歌をタンカードという単語帳にまとめ、「わたし」と「佐藤先輩」で交換日記のように交互に歌を詠みあうことが習慣となっていった。しかし、「佐藤先輩」と話している中で、彼女が自分以外とも吟行し、タンカード（タンカードNo.1）を交換しあっていたことがわかる。その相手は、「わたし」の同級生である「藤枝港」であった。給食の時間になると教室から姿を消す「藤枝」を気にかけていた「わたし」は、「佐藤先輩」と「藤枝」の歌のやりとりをたまたま盗み見てしまったことに罪悪感を覚えながらも興味を抑えられないでいる。

【本文】

タンカードNo.1は結局、まだわたしの手のなかにある。

家に帰って、最後に書かれた歌の意味を考えている。

『君が断つトンカツしゃぶしゃぶ生姜焼き わたしも一緒にさよならするよ』  
どういう意味だろう。

そのカードの裏には絵が描かれていない。

ということ。この短歌を佐藤先輩が詠んで藤枝に渡したのが、最後のやり取りつてことになる。藤枝はもう絵を描かずに、これを机のなかにしまっておいたということだろう。

上の句がよくわからない。『君が断つトンカツしゃぶしゃぶ生姜焼き』？

『君』が藤枝のことだとしたら。太つてもいないけどダイエットでもしてたのかな？　じゃあ『わたしも一緒にさよなら』って？

何にしても、これ以降タンカードは白紙だ。二人はこの歌で『さよなら』になってしまったみたいだ。

「そういえば、今日スーパーで時計屋の藤枝くんを見たよ。」

テレビを見ながら晩ごはんを食べているときに、お母さんがふと言った。

「え？　藤枝？」

今日は偶然にも生姜焼きだった。

「夕飯の買い物してみたい。」

「ふーん。」

藤枝、スーパーで買い物なんてするんだ。ちよつと意外。<sup>①</sup>いつも地上から三センチういて生活しているような藤枝が、食事のための材料の調達という現実的な行動をしているのが、何だかちぐはぐな気がした。

「新しいお母さんの手助けしてみたいね。」

「新しいお母さんっ!」

うるせーよ、とお兄ちゃんが見ていたテレビの音量を上げた。

「あ、まだ見たことない？　若い外国人。」

「外国人!」

だからうるせーんだよ！　とすぐお兄ちゃんなんかまったく気にならない。

「藤枝に外国人のお母さん……。」

意外すぎてドッキリ番組みたいだ。あの昭和ただよう雰囲気の時計屋をしていたおじさんが国際結婚をするなんて。

「どうしてお母さんだつて分かったの？　きいてみたの？」

「ううん。雰囲気で親子だなんて思ったのよ。それに、親子でもなければ一緒にスーパーで買い物なんかしないでしょう。」

「何人なの？」

「分からないけど、私が思うにもしかしたら、」

プルルル、と家の電話が鳴った。

最近みんな携帯でやり取りをしているから、家電が鳴るなんてめずらしい。

誰かしら、とお母さんが席を立つ。

「あら、藤枝くんのお父さん！」

受話器を取り上げたお母さんの第一声に、喉をつまらせるところだった。

どうして藤枝家からうちに電話がかかってくるの？

「ああ、はい。そうです、マレーシア。ええ。」

相槌のなかで唯一意味を持っていたのがマレーシアだ。

「ああ、やつぱり。マレーシアの方なんですネ。トゥダウンを被っていたから、そうかなと思ったんですけど。ええ、何かあったらもちろん。役に立てるかは分かりませんが。いつでも言ってください。」

状況が分かってきた。

その後も電話は数分続いた。聞き<sup>A</sup>を立てていたけど、相槌ばかりで内容は分からなかった。お母さんが電話を切るなり、わたしはお母さんのスウェットの裾を引っ張ってきいた。

「藤枝のお母さんは、マレーシアの人……？」

「ブトゥル！」

お母さんの短い返事は、マレーシア語の『正解』だった。

「藤枝くんのお父さん、学校の緊急連絡網を見て電話してきたんだって。この夏休みに結婚して一緒に住み始めたんだけど、奥さんはまだ分からないことが多いから、もし困ったことがあったら助けてもらいたいって。」

「……ウソ。」

こんなことってあるのかな。

マレーシアから帰ってきたら、藤枝のお母さんがマレーシアの人になっていたなんて。

「お父さんの回転寿司のお店の近くに、何年か前にハラルのラーメン屋さんができたでしょう。そこで働いているスタッフみたいよ。」

「……」

「最近、ハラルのお店、少しずつ増えてきてるよねえ。東京オリンピックに向けて、いろんな国から観光客が来るだろうから、どんどん増えるんじゃないかしらね。イスラム教徒の人たちにとって、安心して食べられるハラルフードは、毎日の必需品よねえ。」

もはや、何を言えばいいのかわからない。予想外で動揺する。

藤枝の新しいお母さん。マレーシア人。ハラルのラーメン屋。

「何、固まってるんだよ。おまえ食わないなら、もうぞ、生妻焼き。」

お兄ちゃんの箸がわたしの皿に伸びる。

藤枝の新しいお母さん。マレーシア人。ハラルのラーメン屋。生妻焼き。

生妻焼き？

② お兄ちゃんがペロツと一枚の豚肉を取った瞬間、

「ああ！」

わたしは立ち上がって声を上げた。

「何だよ、いいじゃん一枚くらい。そんなに大声出すなよ。」

ビビったお兄ちゃんが口をとがらせる。

ちがう、そんなことじゃない。

わたしは自分の部屋にかけてあった制服のポケットに手をつっ込んだ。タンカードNo.1を出してバラバラめくる。

『君が断つトンカツしゃぶしゃぶ生妻焼き わたしも一緒にさよならするよ』

分かった。この歌の意味が、読めた。

藤枝は、イスラム教徒になったんだ。

藤枝の新しいお母さんがトウドウンを被っていたということは、イスラム教徒だ。イスラム教徒は原則として、イスラム教徒としか結婚できない。

きっと、藤枝のお父さんは結婚するためにイスラム教徒になったんじゃないかな。そうしたら、息子の藤枝だってイスラム教徒になることになるだろう。

イスラム教徒になれば、暮らしのなかでいろいろなルールを守らなくてはなくなる。

男子であればトウドウンを被る必要はないけれど、一日五回のお祈りであったり、食事だったり。

そう、豚肉が食べられない。

トンカツもしゃぶしゃぶも生妻焼きも、全部豚肉の料理だ。



この短歌は、藤枝がイスラム教徒になったことを知って、詠んだ歌だ。

するとひとりがほどけるように、次にわたしはすともう一つの答えにたどり着いた。

藤枝が給食の時間になるといなくなる理由。

「給食が食べられない……？」

イスラム教では、豚肉だけでなくアルコールも禁じられている。給食は豚肉料理だけでなく料理酒が入っているかどうかにも気にしないといけない。

わたしはフラフラとリビングに戻って冷蔵庫に貼ってある献立表の文字を **B** ように読んだ。

豚、豚、こっちにも豚。

いろんな料理に豚肉が入っている。

肉団子や麻婆豆腐<sup>マゼドウフ</sup>みたいに、一見、メニューに「豚」と書かれていなくても。食品名のところを見ると、豚肉や豚のひき肉が入っていた。

それに、きつと調味料には料理酒も使われてるんじゃないかな。

きつちりとイスラム教の教えを守ろうとするなら、きつと毎日お弁当を持参しないといけない。

中二の夏休み明けからいきなりお弁当を持参するようになったら、みんなから理由をきかれるに決まってる。

藤枝は、きつとそれを避けたんだ。

だから二学期最初の給食の時間、外に行きたいと申し出たんだ。

あるとき小宮山先生がやけに優しい口調で、藤枝を教室の外に連れ出したことにも納得がいった。

だって、デリケートなことだもん。きつと、いきなりイスラム教徒になった藤枝の気持ちを考えてのことだったんだろ  
うな。

クラスのみんなに「イスラム教徒になったんだ。」と言えるかといえは……わたしだったら無理だ。<sup>③</sup>

みんなから、からかわれたりいぶかしがられたりする光景が目にかぶ。

だってここは日本。イスラム教徒の知り合いなんて、いない人のほうがきつと多い。

それに、わたしたちは中学生だもん。あの四角い教室の空気が世界のすべてなんだ。

仲間外れにされたら、たまらない。それは、藤枝だってきつと同じ。

その夜は、よく眠れなかった。

わたしは本当にバカだ。自意識過剰<sup>かじよう</sup>。自分のことしか考えていなかった。

藤枝が給食のとき教室からいなくなるのは、わたしを避けるためかもしれないと思い込んだ。

藤枝はもつともっと大事な問題を抱えていたのに。

明日、どんな顔をして藤枝に会えばいいのか分からなかった。藤枝は、お父さんがわたしの家に電話してきたことを知ってるのかな。

布団のなかで寝返りを打つと、今度は佐藤先輩の短歌を思い出した。

『わたしも一緒にさよならするよ』

この下の句はどういう意味だろう。

この歌を受け取ってから、佐藤先輩を避けるように朝早く学校に行くようになったんだとしたら。

翌朝、わたしが登校すると、藤枝はやっぱりもう隣の席<sup>となり</sup>に座っていた。

わたしは藤枝に小声で話しかけた。

「あのさ、昨日うちに……。」

「昨日？」

藤枝はきよんとしている。藤枝のお父さんがかけた電話のことは知らないみたいだ。

「やっぱりいいや。ごめん、何でもない。」

このまま何も知らないふりをしていよう。わたしは笑顔をつくって首を横に振った。<sup>④</sup>

「藤枝ー、おまえんち、イスラム教なの？」

**C**を混ぜた言葉のボールが、窓ガラスを割るように藤枝の後頭部に飛んできた。

「……………」

藤枝はゆっくりと振り向いた。

「さっき、事務室にイスラム教のボール被った女が来てたぞ。『二年C組の藤枝が弁当忘れたから、持ってきました。』って。」

教室の後方にあるロッカーのあたりでたむろしている男子たちは、嫌な感じの笑みをうかべていた。

「おまえ、食欲ないとかウソついて、隠れて学校のどっかで弁当食ってたのかよ。」

「……………」

藤枝は何も答えない。

「ちよつと……………」

わたしは吐息ほどの声をもらした。

「おまえんちつて、何かこえーな。」

ちよつとその言い方はないんじゃないの？

あいつらは、イスラム教徒を何だかすごく色眼鏡で見ている。<sup>⑤</sup>

マレーシアで出会ったたくさんの顔が思いうかぶ。

同じコンドミニアムに暮らしていたマレーシア人家族。

お父さんの回転寿司屋で働いていたスタッフたち。

怖くなんかない。

でも、ここでみんなの前で声を上げて否定することがわたしにはできない。

そして、不思議系で独自の立ち位置にいる藤枝には、身をていして彼をかばうような仲間はいない。

わたしはぎゅつとこぶしを握った。

佐藤先輩。心のなかで助けを求める。佐藤先輩だったら、こんないいかげんなことを言うやつらにきつとビシッと怒れるのに。でも今日は、木曜日じゃない。

藤枝は鞆をつかみ、表情一つ崩さないまま教室を出た。<sup>⑥</sup>あまりにポーカーフェイスだったから、ちよつとトイレにでも行っただけなのかとさえ思った。でも、その日藤枝は教室に戻ってこなかった。

その日を境に、藤枝は学校に現れなくなった。

「佐藤先輩、ごめんなさい。」

藤枝が来なくなって最初の木曜日の放課後。いつもどおり図書室で待ち合わせていた佐藤先輩にわたしはタンカードNo.1を返した。

「どうして花岡さんがこれを持ってるの？」

「藤枝の机のなかに入ってたんです。給食の時間に机を動かしたら、これが落っこちてきて……………」

「読んだ？」

わたしはうなずいた。

「佐藤先輩は、藤枝の家のことも、給食の時間に教室にいない理由も知ってたんですね。」

「最初に打ち明けられたのは、夏休み中だった。一緒に映画を観に行っただけ、その帰り道にいきなり、ファミレスでトンカツを食べたいって言い出したんだよね。そこで、もうすぐイスラム教徒になるからこれで食べ收めだって。」

「君が断つトンカツしゃぶしゃぶ生妻焼き わたしも一緒にさよならするよ」ですね。」

「そう。」

佐藤先輩は少し恥ずかしそうに自分の髪かみの毛にふれた。

「あの歌は、港こうへのメッセージだったの。もし、港が好物を我慢がまんしてるんだったら、わたしだってそれに付き合うよっていう意味。港がトンカツを食べてる間にこの歌を詠んでタンカードを渡したの。家に帰ったら読んで言っただけ、でも、九月の始業式の日、いつもみたいに迎えに行ったら、港はもう学校に行つたあとだったの。港のお父さんが『せっかく来てくれたのにごめんね。』って。その隣にマレーシア人のお母さんもいた。港とはそれっきり。もう連絡れんらくもなかった。」

「だから、新しい吟行のパートナーを探したんですね。」

「花岡さんがマレーシアからの帰国子女だって知って正直驚いたよ。こんなことあるんだって。」

それから、佐藤先輩はわざとらしく声こゑのトーンを上げた。

「港もひどいよね、まったく。早起き苦手なのにな。それも克服こくふくしちゃうくらい、港はわたしと顔を合わせるのが嫌になっちゃったのかな。」

「そんなこと……。」

佐藤先輩の気持ちは痛いほど分かった。

好きな人に避けられるのは、通りがかりの見知らぬ人に嫌がらせをされるよりもずっとつらい……。

わたしも藤枝が教室からいなくなる時間を自分のせいじゃないかと勘違いかんちがいして、とても苦しかった。

「あつ。」

わたしはあることを思いついた。テスト中に数学の公式を思い出せたみたいに、突然目とつぜんの前がクリアになる感じがした。

「佐藤先輩、あの豚肉の短歌を渡したのが最後って言いましたよね？」

「うん。」

⑧ 藤枝も、佐藤先輩も、勘違いしてるんじゃないですか？」

(こまつあやこ『リマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ・トゥジュ』)

※注：ハラル……ここではハラルフードのこと。イスラム教の教えの中で食べることが許された食べ物を指す。

問一——部①「いつも地上から三センチういて生活しているような藤枝」とありますが、これは「藤枝」がどのような

人物であることを示した表現ですか。その説明として、最も適当なものを次の中から選び記号で答えなさい。

ア 非の打ちどころがない、完璧主義な人物。

イ とらえどころがない、常識はずれた人物。

ウ 現実味がない、超人的な能力を持つ人物。

エ つかみどころがない、独特な感性を持つ人物。

問二——A には体の一部をあらわす言葉が入ります。その言葉を漢字一字で答えなさい。

問三 — 部②「ああ!」とありますが、これはどのような気持ちから発せられた言葉ですか。そのことを説明した次の文の空らんを埋め、説明を完成させなさい。ただし、iは本文中より六字で抜き出して答え、iiは自分で考えて漢字二字で答えなさい。

◎ 藤枝が i になったという ii に気がついたということ。

問四

B に入る言葉として、最も適当なものを次の中から選び記号で答えなさい。

- ア なめる
- イ はじく
- ウ ながす
- エ ながる

問五

— 部③「わたしだったら無理だ」とありますが、これはなぜですか。「わたし」がそのように考えた理由として、最も適当なものを次の中から選び記号で答えなさい。

- ア 学校という狭い空間での集団生活の場では、一度目立った行動をとると周りからういてしまう可能性が高く、自分とは違うものや理解できないものとして排除されるのが怖いから。
- イ 日本の中学校はマレーシアの学校とは異なり、他人と同じように考え同じように生きるよう指導されるため、日本文化に慣れていない現状では、まだ心の整理ができていなかったから。
- ウ 自分とは違う人種の対応に慣れていない日本人の多くは、海外の人を必要以上に警戒してしまうだけでなく、その人の周りにいる人間までも異質なものと考えて差別されると思っていたから。
- エ イスラム教は日本では珍しい宗教であるため、クラスメートの好奇の視線にさらされることになってしまい、そこからいじめに発展した際に、担任の先生がかばいきれなくなることがわかっていたから。

問六

— 部④「わたしは笑顔をつくって首を横に振った」とありますが、このときの「わたし」の「笑顔」の説明として、最も適当なものを次の中から選び記号で答えなさい。

- ア 自分の一方的な思い込みから声をかけてしまったので、その恥ずかしさをごまかすために見せた笑顔。
- イ 相手からの答えにくい質問をかわしつつも、そのことを気取られないようにするために見せた笑顔。
- ウ 余計な話をして心配をかけないように相手を気づかうと同時に、その場を取りつくりうために見せた笑顔。
- エ 他人の家族に関する立ち入った話をしようとしたことを反省し、また、浅はかな自分を隠すために見せた笑顔。

問七

C に入る言葉として、最も適当なものを次の中から選び記号で答えなさい。

- ア 感動と嫉妬心
- イ 嘲笑と好奇心
- ウ 尊敬と警戒心
- エ 失笑と老婆心

問八

部⑤「色眼鏡」とありますが、それを言い換えたものとして、最も適当なものを次の中から選び記号で答えなさい。

- ア 達成感
- イ 価値観
- ウ 劣等感
- エ 先入観

問九

部⑥「表情一つ崩さないまま教室を出た」とありますが、このときの「藤枝」の気持ちを説明した次の文章の空らんを埋める言葉として、最も適当なものを後の【語群】よりそれぞれ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号は一度しか使えません。

◎ 隠していたことが突然ばれてしまい「 i 」しつつも、明確な理由もなく自分の存在を「 ii 」する周囲の人間に対して嫌気がさしてしまい、そのような空間にはいられないと考え、あきらめと絶望感から周囲との関係を「 iii 」しようと思っている。

【語群】

- ア 断絶
- イ 動揺
- ウ 肯定
- エ 安心
- オ 否定
- カ 継続

問十

部⑦「声のトーンを上げた」とありますが、これはなぜですか。その理由として、最も適当なものを次の中から選び記号で答えなさい。

- ア 以前と変わらない愛情を示すため。
- イ 抑えきれない怒りにとらわれているため。
- ウ 悲しみで自暴自棄になっているため。
- エ 落ち込んでいる本心をこまかすため。

問十一——部⑧「藤枝も、佐藤先輩も、勘違いしてるんじゃないですか？」とありますが、それはどういうことですか。  
次の和歌の内容、かいしゃく解釈を含めて説明しなさい。

◎『君が断つトンカツしゃぶしゃぶ生妻焼き わたしも一緒にさよならするよ』

2020年度 浦和実業学園中学校 <第1回 午前4型> 国語 解答用紙

|    |    |    |    |    |    |    |   |
|----|----|----|----|----|----|----|---|
|    |    |    |    |    |    |    | 二 |
| 問八 | 問七 | 問六 | 問五 | 問三 | 問二 | 問一 | 点 |
| ア  |    |    | 誤  |    | A  |    |   |
|    |    |    |    |    |    |    |   |
| イ  |    |    |    |    | B  |    |   |
|    |    |    | ↓  | 問四 |    |    |   |
| ウ  |    |    | 正  |    | C  |    |   |
|    |    |    |    |    |    |    |   |
| エ  |    |    |    |    |    |    |   |
|    |    |    |    |    |    |    |   |

|    |    |    |    |   |     |       |   |
|----|----|----|----|---|-----|-------|---|
|    |    |    |    |   |     |       | 一 |
| 問四 | 問三 | 問二 | 問一 |   |     |       | 点 |
| 4  | 1  | 4  | 1  | 4 | 1   | 4     |   |
|    |    |    |    |   |     | (まれた) |   |
| 5  | 2  | 5  | 2  | 5 | 2   | 5     |   |
|    |    |    |    |   |     |       |   |
|    | 3  |    | 3  |   | (う) |       |   |
|    |    |    |    |   | 3   |       |   |
|    |    |    |    |   |     | (める)  |   |
|    |    |    |    |   |     | 3     |   |
|    |    |    |    |   |     |       |   |

|    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |   |
|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|--|---|
|    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  | 三 |
| 問十 | 問九  | 問八 | 問七 | 問六 | 問五 | 問四 | 問三 | 問二 | 問一 |  |  | 点 |
|    | i   |    |    |    |    |    | II | I  |    |  |  |   |
|    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |   |
|    | ii  |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |   |
|    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |   |
|    | iii |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |   |
|    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |   |

|      |  |  |  |    |  |
|------|--|--|--|----|--|
| 受験番号 |  |  |  | 氏名 |  |
|      |  |  |  |    |  |

|   |
|---|
| 点 |
|---|